

バージョンアップした新NISAでますます高まる投資熱

新NISA対応版

いちばんカンタン

つみたて投資の教科書

2024年
1月23日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は森永康平著『新NISA対応版いちばんカンタンつみたて投資の教科書』を2024年1月23日(火)に刊行いたします。

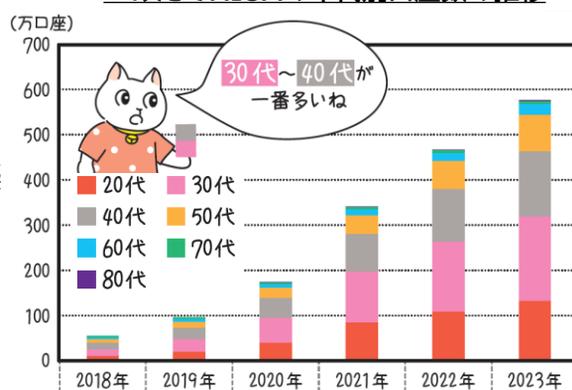
森永康平氏が「つみたて投資」で賢く着実に資産を築くための方法を解説

小額から投資ができるとあって近年若者を中心につみたてNISA口座開設数も増加しています。さらに非課税になる期間、限度額も変わり使いやすくなる新NISAがスタートし、この流れは加速すると予想されます。

本書は、その新NISAの概要はもちろん、安全な資産を築くために「やるべきこと」「買うべきもの」「必要なメンタル」までイラストや図を使ってわかりやすく解説します。

将来のために投資を始めたいが、何からやっていいかわからない……。そんな投資初心者に超おすすめの1冊です。著者おすすめの投資信託“選ぶならこの8本”も掲載！

つみたてNISAの年代別口座数の推移



タイトル:新NISA対応版 いちばんカンタンつみたて投資の教科書

著者:森永康平

ページ数:224ページ ISBN:978-4-86667-666-1

価格:1,650円(10%税込) 発行日:2024年1月23日

【目次】

- 1章 なぜ、今つみたて投資なの？
- 2章 つみたて投資ってそもそも何？
- 3章 超カンタン つみたて投資の始め方
- 4章 初めてでもできる！投資信託の選び方
- 5章 長期で投資を続けるための心得

【著者プロフィール】

森永康平(もりなが こうへい)

金融教育ベンチャーの株式会社マネネCEO、経済アナリスト。証券会社や運用会社にてアナリスト、ストラテジストとしてリサーチ業務に従事。その後はインドネシア、台湾、マレーシアなどアジア各国にて法人や新規事業を立ち上げ、各社のCEOおよび取締役を歴任。現在は複数のベンチャー企業のCOOやCFOも兼任している。日本証券アナリスト協会検定会員。著書に『MMTが日本を救う』(新書/宝島社)や、父・森永卓郎との共著『親子ゼニ問答』(新書/KADOKAWA)がある。



年間投資枠が拡大！保有期間も無限に！新NISAを賢く活用！

新NISAの主な変更点

- ① 非課税保有期間の期限がなくなった
- ② 2つの投資枠が併用できるようになった
- ③ 年間投資枠が引き上げられた
- ④ 非課税の保有限度額が1800万円に引き上げられた

本書では、変更点をイラストを交えて詳しく解説。これからNISAを始める人、旧NISAを利用していた人が、賢く“新NISA”を活用する方法をご紹介します。

2023年末までのNISAと新NISAの違い

	2023年末までのNISA		新NISA (2024年1月より)	
	つみたてNISA (2018年創設)	一般NISA (2014年創設)	つみたて投資枠	成長投資枠
非課税保有期間	20年間	5年間	無期限化	無期限化
年間投資枠	40万円	120万円	120万円	240万円
非課税保有限度額	800万円	600万円	1,800万円	
口座開設期間	2023年まで	2023年まで	恒久化	恒久化
枠の再利用	再利用不可		再利用化	

必要な期間持ち続けられる

つみたて枠が3倍に！

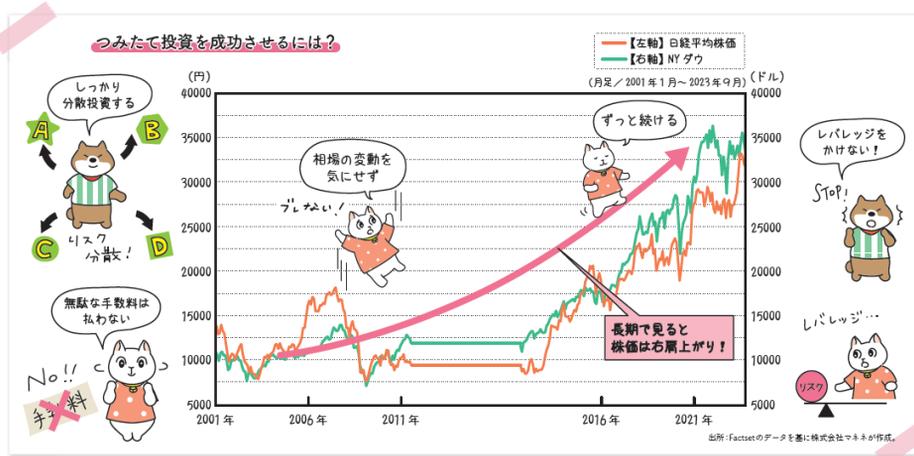
節税メリットが大きくなって使い勝手がよくなった

結局、長く続ける人が投資で成功する人です！

目先の相場に揺さぶられると、冷静な判断はできません。投資は、長く続けた人が成功します。

だからこそ、コツコツと無理せず続けられる“つみたて投資”が資産形成に最適なのです。

本書では、“つみたて投資”の始め方、長期で投資を続ける心得を解説します。



老後資産の2000万円問題もつみたてなら安心!

何もしないまま定年を迎えると、老後資金が2000万円足りなくなるといった試算もあります。将来を見据えて、逆算思考で計画的な資産運用を始めるべきです。

投資信託なら「複利」で運用できるので、運用期間が長くなればなるほど大きくお金を増やすことができます。複利は長期間にわたって投資を続けるほど効果が大きくなります。たとえば毎月1万円を5%の利回りで10年運用した場合、元金は120万円ですが、資産は155万2823円にもなっています。

複利の効果を得るためにも、なるべく早くからつみたてを始め、長期間続けるようにするのが得策です。



イラスト: 吉村 堂 (株式会社アスラン編集スタジオ)